てんやー

新聞
'16.2 NO224
発行・責任 市岡日出夫
0883-88-5292

冬とはいえ、雪の少ない一月。生活するには、楽なのですが、あれこれと心配事はあるものです。

一番は、雪も少ない、雨もないとなれば、飲料水がなくなる心配が大きくなる。

一方では、一月末には、東祖谷のイベントは「雪合戦」なので、雪玉のない雪合戦はちょっとイメージ的にもダウンするので、気になってくる。

…という事は、人は勝手なものである。自分に都合の悪い事があれば、考えてしまう。自然現象は、あれこれ考えても、人のおもう様にはいかないので、一番一憂してしまう。

それにしてもなんでかんでと言っても、日本にはお金が余ってるというか余裕があるのですね。

あれこれ

黙考の日々

ニュースによれば、昨年一年間に振込詐欺の被害がちょ八百億円なんだそうです。あれだけ「注意してよ」と叫んでいるのに……。

なんともまあ！

持ってなければ、振う金もないのに……。

そういえば、私のケイタイにも突然のメールで、「あい」

込まなければ法的手段に出る」といった内容のオドシがありましたよ。

持っていれば使いたくなる。これはお金だけではありません。道具類だって武器類だって同じだとおもいます。切れ物を持つと、ちょっと切ってみたくなるもんです。だから、武器も持たないに限ります。こんな事書けば、A国が攻撃してきたらどうするんだと必ず反論してくるでしょうが……。

知ったら、誰かに伝えたくなるでしょう。あの山中に、こんな花が咲いていたとか、こんな絶景があるとか、自分が知ったら伝えたい、教えたい、話したいというのが人間。こうして、名所になっていくのでしょうが、痛し痒しということになってくる。

山野草の群生地が消えていくのも同じ現象だとおもいます。

それと、人は、様々な欲望のかたまりなので……。

知能は、今の新人が一番なんでしょうが、それにしても「なんでそんな事が」という事が少なくない。

親が子を殺し、子が親を殺す。

人権、平和を叫ぶ世界で、無差別に殺りくする戦争がなくならない。

軍人間の殺し合いでも、普通なら出来ないのに、正義とか、テロをなくすとかの理由をつけて子供を含む無差別な攻撃。

これも、人間のエゴや欲望が原因だとおもいますが、失くなることはない。

動物をはじめ、地球上に生きている物は、すべてが、影響しあって生きている。

ただ、生きる為だけに生きている様にみえるが、人間よりは、子育ては、上手というか、あたり前に育てている。

学校もなにもないのに、伝えている。

自然界の中で、生きていく智恵を伝え守っている様にみえてくる。

何もない毎日を生きていると、時々こうした事を考えたりしてしまう。

「お金の為に、地球を支配している人間はどこまで欲が深いのだろうと。

最近、そんなコトバ読んでいますが、